

有宵会だより

第110号
 発行所
 特定非営利活動法人
 岳易館・有宵会
 編集 広報部
 松戸市新松戸1-64

九星と易断による 四月・五月の運勢

気学では辰の九紫
 四月五日（清明）節入

ア 生氣

8	4	6
7	9	2
3	5	1

天道

気学では巳の八白
 五月五日（立夏）節入

天道

7	3	5
6	8	1
2	4	9

破

生氣
ア



国破れるウクライナ

ロシア軍の不穏な動きは二月二十四日、ウクライナに侵攻。領土破壊・砲撃攻撃により「国破れる」の惨状です。連日連夜の報道で、ウクライナの婦女子が逃げ惑う姿は直視できません。

「停戦は成立するか」
 得卦は、

雷山小過の六五です。

卦辞は、小事は可でも大事は不可で、小過の内外卦は対峙した象です。互いの主張を受容・妥協しません。四月中旬に事態の変化と読み、暗礁から頭一つ氷から額を出しての交渉あり、これぐらいでは解決にはなりません。「戦争の終結はいつか」問筮・得卦は、坎為水の六四です。

之卦の沢水困においても終末が見えません。四爻の半年、重卦の坎冬で一年と読みます。今後の惨劇を思えば悲痛です。

一白水星の人の運勢

四月筮・火地晋六五
 五月筮・火雷噬嗑九四

四月は活気と意欲があり、調子に乗る独断を避ける。公私に責任が伴う。仕事は損益で動かず本業を守る。家庭は愛情濃く、金銭堅実に。休養は我が家で。

五月は気分良く進むが失言あり。予定は上位に従う業務処理。中旬に苦労解消でヤレヤレ。出費の遣り繰りと体力強し。

二黒土星の人の運勢

四月筮・風天小畜上九
 五月筮・天山遯六二

四月は久しぶりに平穏です。外部交際は気遣いがほしい。実績を上げるが気のゆるみと安請け合いなご厳禁。投資より貯蓄が安全。春は気官と菌の手当。

五月は何かと多用で角が立つ。冷静判断で急がずに待つのが賢策。仕事は変化に乗ると損をする。

春風邪、足腰に注意。

三碧木星の人の運勢

四月筮・火風鼎九四
 五月筮・天水訟九五

四月の運氣は肩の荷が重いが充足感あり。仕事の準備は周到に。個人では家庭と同居。財産の問題で不快感を持つ。金運はのんびりで体調安心。

五月は活気があり前に向く。才能を表す努力を惜しまず評価され、仕事欲を出しすぎると不評。人脈大事に調和一番。

四緑木星の人の運勢

四月筮・雷火豊初九
 五月筮・火風鼎九三

四月は慎重運。仕事は手を出さず待つ。嫌な飛び火に用心。何事にも守りを固める。散財避けて地味にいく。出る杭は打たれる。視力と花粉注意。

五月は前月のものを処理。今月継続は一件ずつ早さより確実処理。共同作業で不調ならば改める。下旬の風邪は聴覚に響く。

五黄土星の人の運勢

四月筮・離為火九四
 五月筮・雷水解九二

四月は表に立つより裏

方で支える。対人面の気苦勞多し。上旬の助言は仇になりやすい。本業に目を向け無理をしない。健康保持のため三食よし。

五月は苦あれば樂あり事後収まる。古くても義理人情で結ばれる。書類と金銭ミスに注意。家族に喜びと疲勞回復嬉し。

六白金星の人の運勢

二四月筮・天水訟九四
 五月筮・風山漸上九

四月は本調子にならずないが徐々に努力で向上く過去の経験生かし有益。公私にマンネリ部分の解消。噂の種を蒔かず、わが家は和やかさに悦ぶ。

五月は活気が出て意欲増、目標に向け強く押す。人事は先を見越して手を打つ。金策予定通り、休養の依頼とストレス対処。

七赤金星の人の運勢

四月筮・天火同人九三
 五月筮・天風姤上九

四月は忙しさの中で気を抜きやすい。急ぎの用事を処理、独断で進めず専門の話を聞く。仕事は連携プレーの協力が一番。二盤は新知識を学ぶこと。五月は信用と実力がモ

ノを言う。生活リズムに改革風を入れてみる。小願成就のとき。損得抜きで取り組んで幸運あり。

八白土星の人の運勢

四月筮・艮為山六二
 五月筮・山火贲上九

四月は順調な滑り出し良い運氣は放さない。交際上手で負担を軽く処理。はじめをすれば吉。家庭に嘉事生まれる。不動産の話題に乗り気していく。

五月は気持ちのゆとりが欲しい。物事に一段落をつける。揉め事には黒白をつけずに待つ。嫌々用事は断りにくいが我慢。

九紫火星の人の運勢

四月筮・震為雷六五
 五月筮・沢天夬九三

四月は何かと煩雑さが多いが、小事に拘らない。仕事の良さは気楽にいくこと。平凡でも家庭は円満。思わぬ人からの頼りが嬉しい。体調は良好で吉。

五月は良さそうに見えるても油断をしない。強気に出ないで柔らかく待つ。金銭管理を厳しく、体調は崩れやすいので対策を。

二月有宵会報告

手塚唯次

一月二十九日(土)勤
労福祉会館(綾瀬プルミ
エ)第一ホールにて、N
PO 法人岳易館・有宵会
定期例会が開催されまし
た。

第一部は、検見川神社
の水谷先生から、禊とお
祓の実践についての講
演、次に乾象先生からの
三元周期等の講演のお話
がありました。次に佐藤
宗眩先生より沖縄での暦
の講演のお話がありまし
た。

第二部は、福田有宵先
生から、コロナの現状、
寅年に関わるお話、皆さ
まからの質問による日
本での今年の地震につい
てお話がありました。

○福田有宵先生のご挨拶

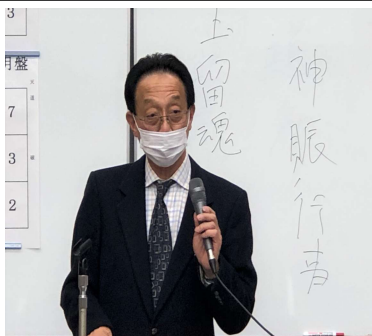
この約二年間のコロナ
ウィルスの影響で世の中
の流れは変わっています。
今後も休まずたゆまず研
究を続けて行くことが大
事なこととなります。今
日も水谷先生の講話があ

りますのでお話をしつか
り聞き、より占術の内容
を極めてゆくことが、大
切になると思います。今
年も一年よろしくお願
いします。

第一部

禊とお祓の 実践について

検見川神社
水谷智賢先生



今回の講演で三回目と
なりますが、以前計画し
ていました検見川の海岸
での禊が、コロナのため
中止となってしまいました
。今年は、落着いた後
に是非とも実施したいと
思っています。

まず、冊子になってお
ります「修行と信仰」と
いう冊子等を用意しまし
たので、後で読んでいた
だきたいと思えます。
その中の禊(洗い清め

ること)と鎮魂(自分の
魂を静めること)のお話
をさせて頂きます。

鎮魂行法は生者の魂を
活性化する行法でもあり、
奈良の石上(いそのかみ)
神宮に伝えられてきた行
事です。魂の浄化であり、
瞑想に近いものでもあり
ます。また、禊は、冷た
い水に入るなどの苦行で
はなく夏に行われること
で、心身から安らぎ浄め
られた感覚を得られるこ
とから重要なこととなり
ます。その際に、過酷な
禊とならないように道彦
による可否判断が重要な
こととなります。

また、良く神職は神が
かつてはいけなと言わ
れます。つまり心の修行
は大事なことであり、ト
ランス状態になりすぎる
ことは避けることが大事
であると考えます。ただ
し、神様の存在を感じと
ることはとても重要なこ
ととなります。

○鳥船(とりふね)行事
船を漕ぐような動作を
繰り返しながら、和歌を
奉唱する。

禊行事

○雄健(おたけび)行事

足を開き両手を腰に当
て腹に力を込め「生魂
(いくたま)、足魂(た
るたま)、玉留魂(たま
たるたま)」と叫ぶ。

○雄詰(おこころび)行事
左足を斜めに踏み出
し、左手は腰に右手は人
差し指と中指を立てて眉
間の辺りに構え、「国之
常立命(くにのこたぢち
のみこと)」と叫び、

「イーエツ」の気合いと
共に右手を斜め左下に切
り下ろすと同時に右足を
左足にそろえる。次いで
「イーエツ」の気合いと
共に右手、右足を元に戻
すのである。

○気吹(いぶき)行事

両手を大きく広げて差
し上げ、深呼吸をし、大
気を静かに腹におさめる。
続けて両手を頭上で組ん
だ後、徐々に下げながら
上体を屈め静かに息を吐
く。

○身そぎ行事

「エイイツ」と気合いを
かけ水に入り、「祓戸大
神(はらえどのおおかみ)
を連唱し、次いで「大祓
詞(おおはらえのことば)」
を斉唱する。

石上神宮、大神(おお

みわ)神社は奈良にあり
ますが、その場所は天理
教の本部もあり、とても
パワースポットを強く感
じ取れるところでもあり
ます。以前は、神職にな
るための禊ぎの修行を神
社で行っていました。

また、伊勢神宮の五十
鈴川、箱根神社の芦ノ湖
での禊など行ったことも
ありますが、また、川で
の禊は、一の滝、二の滝、
三の滝などの山を乗り越
える滝行もあり順番に乗
り越えて上に辿りついた
人を良しとするところも
ありました。中国では高
い所などに身を置いて恐
怖心を取り越えるような
訓練のような風習もあり
ます。

話しは変わりますが、
占いも確率統計的なもの
もあります。お客さま
に聞いてもらうための手
段として、人を傷つける
ことはあってはならない
ものであると考えていま
す。仮に不安をおおった
としても必ず後で救いの
手を差し伸べることを、フ
ォローしてあげること、ま
でも大切なこととなりま
す。

また、それぞれ神社に
よって気の違いというも
のがあります。パワース
ポットとしても本人と気
が合うかどうかは、とて
も重要なこととなります
ので、その時の体調はど
うであったか、神社の気
をクリアに感じとれたか
どうか、自分に合うかな
どを把握するために、簡
単で良いので自分なりの
神社手帳を作成すると良
いと思います。

神社も神様を喜ばせる
こと、更にお客さまのた
めにゴミも落ちてなく綺
麗に掃除し、トイレも綺
麗にしておきます。綺麗
な手水で清めてもらいお
参りをして頂きます。

御朱印は参拝の記しで
すので、自分の気を癒し
てもらおう自分に合う神社
をご自分なりに把握し、
自分に合った神社の気を
頂くことが重要となつて
きます。

占いと神職とは、これ
からも共に協力してゆく
ことは今後も大切であり、
お客さまを元気づけるこ
と、仮に運氣が落ちてい
ても、占いは東洋又は西

は寅よりも猛々しい」(悪い政治は人を食う寅よりも恐ろしい)、猛虎(猛々しい寅)、易経の天沢履が示しています。

では、実際に気になるところのご質問を受けて回答していきたいと思いません。

○「今年日本で地震はあるか？」

水沢節の九五 問合せがありましたので易の判断でお答えします。

震度5強6弱くらい、場合によってはひどいところもある。仙台、四国九州の環太平洋火山帯があります。南の動きはななく、南海トラフ、東海沖は心配なしでよいでしょう。

水沢節は、節度があり話が分かる、キチンとしている、筋を通してくれることから、震度5〜5半程度。マグニチュードの6以上は日本列島にはなし。兌で器、西、九州を指します。坎で水、北を指します。水沢節の二爻く四爻で震、三爻く五爻の艮で東北、兌の上の

陰二つで器からはあふれない、器に水が素直に入っている。 半象と言いますが、それをどのように見るかです。大丈夫です。

○「直下型地震が起きるかどうか？」

火地晋の六二 晋卦はご機嫌良く、暴れたり勝手なことをしません。ある場所にポンと出ることはあるかもしれませんが、六二で、岩盤に留まっている。三〜四月は軽い、七〜八月は少し重い。都の南から先、神奈川よりもいえませんが大丈夫です。

次は別の問題を検討しましょう。 本日は、貴重な時間を頂きありがとうございます。

牧野有峰先生を偲んで

福田有宵先生

彼岸のお中日は爽やかに暖かく墓参日和でした。どの墓前でもお線香から立ち上る香煙の、たゆたう姿はご先祖さまとの触れ合いのしるしです。さて、どんなお話をなさ

いましたか知りたいたいものです。

ところが翌日の天気は一転、小雪の舞う寒さに身の縮む思いでした。 二十日の開花で綻んだ桜は咲き直しますが、今年の桜を見ることもなく

二月十二日「牧野有峰」先生が逝去されました(享年八十六)。心より哀悼の意を申し上げます。

三十年前、都の職員として永年の勤めを果たし、定年後に学びと仕事を兼ねて、占いの道に入りたいと志を抱いて心を吐露されてから、今日まで歳月を重ねて来ました。

教室では常に真剣に取り組み、ノート整理が上手で、書き込みを巧みに入れていたこと。秘訣の内容のときなど煩いほど熱心であったことを思い出します。

長足の進歩を遂げ、カルチャースクールの指導で優秀な門人を育て輩出したなど立派でした。

有宵会の設立に尽くしてくださり、その後の活躍は目覚ましく、「有峰会」を立ち上げて実践と普及へ精力的に活躍されました。

日本占術協会では要職について実力を表したところが記憶に残ります。

去る一月の『有宵会だより』に、新年の挨拶文を書き上げたときはお元気でしたが、肺炎の症状再発が厳しいものでした。

二月十八日の通夜席に易占に用いる筮竹と算木が飾られていたのが象徴的でした。私は筮を取らせ

ていただき、牧野先生のご伝言を揅筮しました。 天水訟の九五。 九五は訟元吉。象曰。訟元吉。以中正也。

人生は多様で計り知れないもの。じっくりと理非を究めていくこと。易の理は九五にあり。そして最期に人との出会いは特別なことで、人に会うほど大なる吉はないものです。尊位快哉か。 訳

このように誦卦しましたが、個々に思量してください。

「賢交文道居士」 合掌

桜に想いをよせて

大川法祥先生

春の訪れを告げる花こそ桜。一気に咲き誇る花

が咲くと、それを合図として、農家の人々は田圃に水を入れ、田植えの準備を始めます。

何千年も昔から米を育てて来た日本人にとって、桜は季節を告げる木なのです。

季節を告げ、神を宿らせる桜木。桜が咲くと何故か心が浮き立つ。それは、私達のDNAの中に桜への祈りの心が刻み込まれているのかも知れません。

吉野の桜が名所となつたのは、「役行者」が苦行の末、蔵王権現のお姿を桜の木に彫った事に始まったと伝えられています。

以来、行者や多くの参拝者の御高志が御神木の「献木」として植え続けられ、後世に迄、大切に守られて来ました。

吉野の桜には、世界遺産となった山岳密教と南北朝を始め、様々な歴史との関わりが深いのです。

儂かなげで、淡く清らかな桜を愛でながら、そこに人々は自分の人生を重ね合わせるのでしょうか？ 茶の湯や生け花の文化

を育み、自然と共に、たおやかに生きてきた日本人。僅か数日だけ圧倒的なエネルギーを放ち乍ら咲き誇り、そして散りゆく桜に、大和心が揺さぶられるのでしょうか？

桜の定説は無く、サキムラガル、サクヤ説、サガミ説、等有ります。サクヤ説は、古事記で桜の霊とされる「木之花咲耶姫」から。サガミ説は、穀霊の憑りつく神座で「サ」がサガミ(田神)、「クラ」は神が座る所とされています。

花見は農耕文化と結びつき、豊穣、子孫繁栄を願ひ、農家の予祝として、酒を飲みご馳走を食べました。

万葉時代の花見は梅でした。平安時代から桜が花の代表となり、貴族社会で花見が良く行われ、豊臣秀吉の吉野と、醍醐の花見から庶民にも広がりました。

徳川家光は、上野の寛永寺や隅田川河畔に吉野の桜を移植させ、桜の名所が出来、庶民の花見が盛んになりました。ソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラ

の交配雑種で江戸末期、江戸染井村から売り出されました。現在の花見は、この桜が主流ですが、それ以前の花見は山桜でした。

ブラシ状に咲くウワミズクラ（上溝桜）という変わった桜は、古事記に天照大神が天の岩屋に隠れた時、この木が「ハハカ」という名で亀甲占いに使われています。

山桜は、業平、小町、西行等の和歌が有名であり、藤原定家は御所桜の美しさにとりつかれています。桜守の佐野藤右衛門さんは「日本人はどうして桜がこんなに好きなんやろうか？説明できるものやない！」と仰っています。

日本民族の原点アニミズムの流れを感じ、すべての命をいとおしく思う春です。 合掌

【NPO通信】

◎賛助金ご報告

次のかたがたより、有宵会活動賛助のご寄付を賜りました。

皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。
*令和四年二月一日現在

(敬称略・順不同)
濱野延珠 今中陽子 今平乾象 阿部治
久保田恵都予 泰山林翰

*本掲載は前後する場合がございます。ご了承ください。

◆行事・活動報告

◎検見川神社初参り

令和四年二月十六日

現地参加者：五十三名
ご祈祷申込：六十九名

二年ぶりに有宵会有志による初参りを開催。今回も、検見川神社のご神職様方には、

待機場所のお手配からご祈祷の準備に至るまで、多大なご協力をいただきました。拝殿内では、巫女舞が振舞われ、有宵会でご講演をしてくださっている水谷智賢先生より、申込者全員の

名前と願意を込めた祝詞を奏上いただきました。参加者は、ご神前で玉串奉奠を行い、各々が真剣に祈願をいたしました。参拝後は、記念撮影をしたり、季節限定のお守りや御朱印をいただいたりと、和やかな初参りとなりました。

◆次回・行事予定

【参加見合わせ】
「こどもは、みらい。み

らいフェスタ二〇二二」(まつど市民活動サポートセンター主催) 毎年三月頃に開催される「みらいフェスタ」は、参加エントリー時期が「まん延防止等重点措置」施行期間と重なったことから、大勢の方との長時間に及ぶ対面接触型の鑑定会は、参加を見合わせる判断となりました。

【事務局だより】

【訃報】

有峰会会長 故 牧野有峰 様

去る二月にご逝去されました(享年八十六)

有宵会の設立と発展にも長年ご尽力を頂きました。ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに謹んでお知らせ申し上げます。

【重要！】

令和四年の五月度から、有宵会の開催場所が変更になります！

■次回例会のご案内

◎日時/令和四年五月二十八日(土)
午後一時〜五時

◎場所/北千住駅 西口
北千住マルイ内

「シアター1010」

十階 講義室

定員：五十名まで

※会場の都合により、定員五十名までとさせていただきます(事務局含む)。
※十階フロア受付に向かつて右手側すぐの講義室です。

◎講演内容

福田有宵先生、佐藤宗

眩先生のほか、ゲスト出演者からのご講演を予定。
*今後、例会およびイベント内容は、直前に変更・中止となる場合がございます。各種情報は、有宵会ホームページ等もご確認ください。

■《募集中》

「神易館」鑑定士

「神易館」(検見川神社様境内)では、鑑定にご協力をしてくださるかたを随時募集しております。ご協力をいただけるかたは、佐藤宗眩先生、福田有宵先生までご連絡ください。

■《募集中》
占例、体験談等募集のご案内

有宵会では、占例はもちろんのこと、ご自身の様々な体験談をジャンル問わず募集しております。原稿執筆という形での活動参加も大歓迎です。ふるってご応募ください。ご希望者は、福田有宵先生、佐藤宗眩先生、牧亜津子先生、八川林加まで。

■令和四年一月度例会参加者

一月度は、四十二名のかたがご参加されました。(懇親会は中止)

先般ご案内のとおり、五月から有宵会の開催場所が変更となります。福田有宵先生のご意向と、運営上のご観点で検討を重ねておりますが、皆様にはご不便をおかけ致しますこと、心苦しい限りですが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

事務局長 八川林加

